

ボリビア多民族国パンパグランデ市における 農薬容器を含む廃棄物リサイクルシステム導入

〒515-3421
三重県津市美杉町八知1383番地
電話:059-212-0154
E-mail:info@difar.jp
http://difar.jp



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



有機ごみを分別回収する市場の野菜売場の女性

市場での有機ごみ
年間回収量 **33,239kg**

ごみ分別回収を
開始した市内家族数 **40家族**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する
達成度 **75%**

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

生ごみ堆肥の質が安定しなかったため、粉碎機を導入したりスタッフが講習会に参加したりしたことによって、段々と堆肥の質がよくなってきた。

■ 工夫した点

市場での生ごみ回収は、分別指導員を雇用して必ず分別がされるように指導しているため、きちんと分別がされている。

課題

年間約24トンの農薬容器が排出されているが、啓発不足のため適切に処理されておらず、さらにごみの分別回収がされていないため、環境汚染と健康被害が懸念されている。

目標

農薬空容器回収と、ごみの分別回収を導入することで、パンパグランデ市の農地及び生活空間のごみによる環境汚染が減少する。

活動内容と成果

使用済みの農薬容器のリサイクルについて、農村で講習会を開催し、専用の回収所を市内14か所に設置し回収キャンペーンを実施した。昨年講習を受けた教員が主体となって、各学校で生徒を対象に学校周辺の美化活動、生ごみ

堆肥作り、啓発ビデオの制作などの環境教育を実施した。学校と市場、広場にて資源ごみの分別回収を実施した。市場では野菜売場の売り子さんが生ごみの分別回収に参加し年間33,239 Kgの有機ごみを回収し堆肥になっている。市民を対象に、環境絵画コンクール、物々交換フェア、美化キャンペーンを行った。



回収した農薬空容器は2年で保管場所いっぱい

今後の展望

今後も啓発活動を継続し、農薬空容器回収キャンペーンやごみの分別回収、生ごみの堆肥化を持続していく。